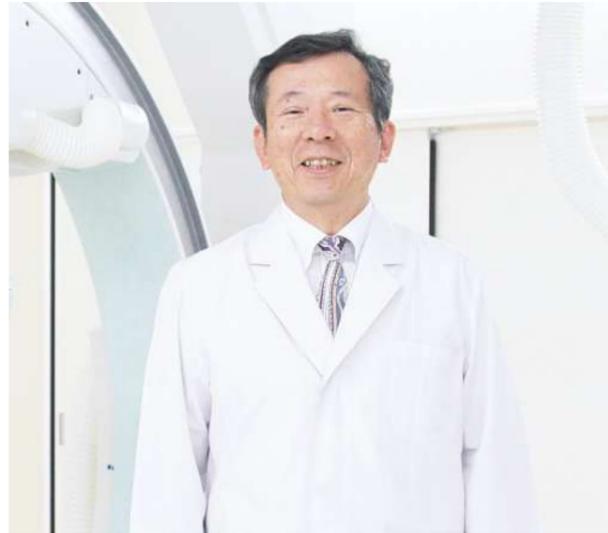


院内データを統合管理できるシステムとして『STELLAR』を検討
 導入した結果、複数サーバに点在していた診療データを1つのサーバで一元管理することが可能に



喜多医師会病院院長 住元先生

現状の機能だけではなく、今後の発展性にも期待

画像やレポート、検体データ等の様々なデータを一元的に管理できることや、1画面の中で時系列でデータを参照できる点に魅力を感じました。また、保守費等のランニングコストが抑制できるという面も、決め手の一つとなりました。特に診療データを時系列で表示できるという点に関しては、導入前から院内の会議でも高評価を得ていました。

導入効果
システム導入により
サービス向上と業務効率化を実現

これまでのシステムでは、各データごとに特定の端末でしか参照できなかったり、検査に対する所見を付けられなかったりと不自由な点が多くありました。

しかし、アストロステージのシステムを導入したことにより、これまで複数サーバに点在していた診療データを1つのサーバで一元的に管理することが可能となりました。

そして、端末を限定されることなく、院内のどこからでも「データの参照」・「レポートの作成」を行うことができ、業務の効率化を実現しております。

アプリごとに具体例を挙げさせていただきますと、STELLARによる時系列表示は診療状況が一目で把握できるため、非常に使い勝手がよいです。各診療データをワンクリックで参照することができるため、患者様への説明時にも重宝しております。

また、DICOM画像ビューアであるNazcaViewは動画・静止画どちらにも対応しており、どのようなモダリティの画像でも表示してくれます。そのため、わざわざモダリティごとにビューアの操作を覚える必要がなく、シームレスに使用することができております。

これらの利点に加えて、業務上で発生したシステムに関する要望や問合せに、迅速かつ柔軟に対応して頂ける保守対応にも大変感謝しております。



循環器内科 稲葉先生

導入経緯

院内に点在していたデータの一元管理を目的に『STELLAR』の導入を検討

電子カルテの導入を検討していた時に、併せてPACSも選定していましたが、その際に、院内データを統合管理できるシステムとして、STELLARをご提案頂きました。

数年前にもSTELLARを目にしたことはありましたが、その当時は具体的な利点が見出せませんでした。

しかし、今回の提案をきっかけに、他施設で実際に稼働中のSTELLARを改めて拝見させて頂いたところ、データの格納性や表示処理速度の面で数年前とは大きく変わっており、検討対象として考えるようになりました。

導入システム

- DICOM画像管理システム Nazca
- RISシステム NazcaRIS
- 診療情報統合システム STELLAR
- ドキュメント作成&管理システム SophiaReport
- 画像キャプチャシステム ARKGate
- 部門システム ASTRO Launcher

導入前の課題

- 院内データを統合管理できるシステム
- ランニングコストの抑制

- 診療データの一元管理が実現
- ユーザへのサービスが向上し各業務が効率化

導入後の効果

喜多医師会病院：システム導入時期 / Mar 2017



【病院理念】

私たちは患者さんの立場に立ち、地域の医療を支援する病院として、地域の皆さんに質の高い医療を提供します。

【基本方針】

患者さんの権利を尊重し、信頼、満足していただける医療の推進に全力を尽くします。医療機関相互の連携を図り、地域の皆さんが安心して健やかに暮らせる医療機関の実現に努力します。

常に研鑽に努め、質の高い医療の提供を目指します。

所在地：愛媛県大洲市徳森字小島越 2632-3

病床数：一般病床 169床 / 療養病床 38床

診療科：内科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・血液内科・感染症内科 / 外科
 放射線科・リハビリテーション科・脳神経外科・心血管外科

今後の方針

当院の周辺地区には中核的な総合病院が存在しない為、医師が分散しており、慢性的に医師不足・医師の高齢化が進んでいるのが現状です。そうした状況で地域完結型医療を実現する為に、アストロステージの地域連携システムを用いて、他施設と医療情報の共有を行い、地域に根差した質の高い医療を提供していきたいと考えております。

システム構成図

